

テサロニケ

第二

②

# 主の来臨の 希望の内に

テサロニケ人への手紙第二 2章 反キリストと主の日

Shikaoichurch.com



# アウトライン

## 0. イントロダクション

## I. 終末論のおさらい 2章

## II. まとめと適用

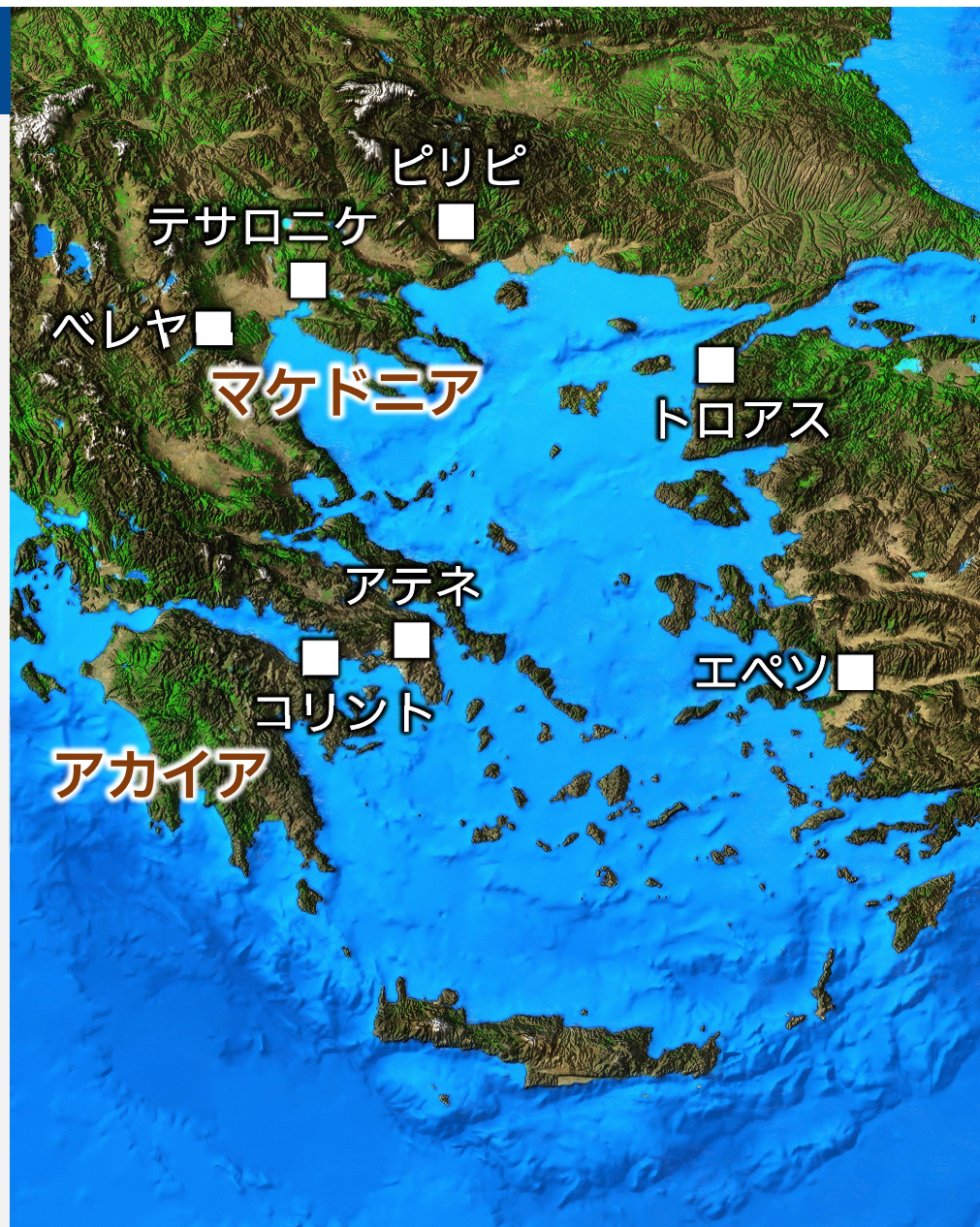
主の来臨の希望の内に





## テサロニケへの手紙第一とは？

- 著者 …使徒パウロ(書記テモテ)
- 宛先 …テサロニケ教会
- 執筆時期・場所  
…コリント(最初の滞在中)  
第一の手紙数ヶ月後?!
- おもな目的 …終末論補講第二弾!!  
「主の日は来た？」  
→誤解を解く







I. 終末論のおさらい 2章



## 来臨 携挙と再臨 II テサ2:1

さて兄弟たち。私たちの主イエス・キリストの来臨\*と、私たちが主のみもとに集められること\*に関して、あなたがたにお願いします。

\*キリストの再臨

\*信者の携挙

■「携挙→再臨」は、つながった一つのこと!!





## 来臨 主の日は来た？ Ⅱテサ2:2

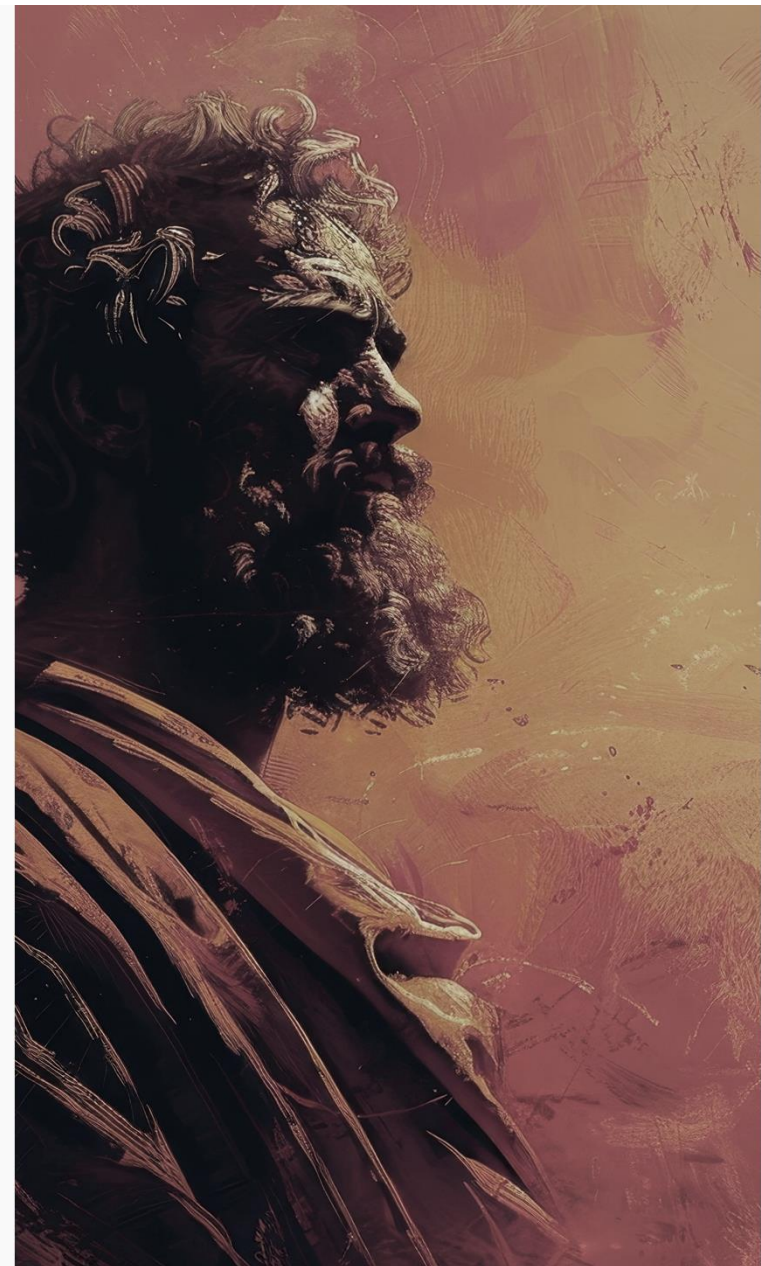
霊によってであれ、ことばによってであれ、私たちがら出たかのような手紙によってであれ\*、**主の日\***がすでに来たかのように言われるのを聞いても、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。

\*悪魔は天使すら偽装(Ⅱコリ11:14)

御言葉も意図的に誤用(マタイ4:1~10)

\***世の終わりの裁きの時・大艱難時代**

■内容から正誤を判断できる力が必要!!





## 終末 不法の者 IIテサ2:3

どんな手段によっても、だれにもだまされてはいけません。まず背教が起こり、**不法の者\***、すなわち**滅びの子\***が現れなければ、主の日は来ないのです。

\* IIテサロニケ2章のみの表現

\*ユダも同じ表現が(ヨハネ17:12)

■反キリストが出現し、

イスラエルと七年の契約(平和条約)を結ぶ

→主の日(大艱難)の始まり





## 終末 不法の者の本性 II テサ2:4

**不法の者\***は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、神の宮に座ることになります。

■ 大艱難時代の後半、**反キリスト\***は、エルサレムの神殿を汚し、自らを神とする。

■ 黙13:5～6

「**この獣\***には、大言壮語して冒涇のことばを語る口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。」





## 終末 引き止めているもの Ⅱ テサ2:5～6

私がまだあなたがたのところにおいたとき、これらのことをよく話していた\*のを覚えていませんか。

不法の者がその定められた時に現れるようにと、今はその者を引き止めているもの\*があることを、あなたがたは知っています。

\*テサロニケの短い滞在中、パウロは、主の日について度々教えていた!!

\*教会? → 携挙後に反キリストは出現



激しい戦いの中、  
均衡が保たれているのが、今の時代



## 終末 不法の秘密 II テサ2:7~8

不法の秘密\*はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き止めている者\*が取り除かれる時までのことです。

その時になると、不法の者が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます\*。

\*その時まで誰が反キリストか分からない。

\*教会？

\*再臨のメシアが、反キリストを滅ぼす。





## 終末 滅びる者たち II テサ2:9~10

不法の者は、サタンの働きによって到来し、あらゆる力、偽りのしるしと不思議、また、あらゆる悪の欺き\*をもって、滅びる者たち\*に臨みます。彼らが滅びるのは、自分を救う真理を愛をもって受け入れなかった\*からです。

\*反キリストはサタンの子。

復活の奇跡すら行う(黙示録13:13)

\*反キリストの側につき、刻印を押される者

\*キリストの福音を拒んだ





## 終末 惑わす力 Ⅱテサ2:11～12

それで神は、惑わす力を送られ\*、彼らは偽りを信じるようになります。

それは、真理を信じないで、不義を喜んでいたすべての者が、さばかれるようになるためです。

\*悪魔、悪霊すら、神の許しの内にある  
…大艱難時代の裁きの一つは、  
陰府から解き放たれた悪霊による。





## 奨励 初穂として II テサ2:13

しかし、主に愛されている兄弟たち。私たちはあなたがたのことに、いつも神に感謝しなければなりません。神が、御霊による聖別と、真理に対する信仰\*によって、あなたがたを初穂\*として救いに選ばれたからです。

\*福音を信じた者たちの真実を示す呼びかけ

\*福音の真理を信じた信仰による救い

➔背後には御霊の助けが!!

\*マケドニア(テサロニケ)の救いの初穂

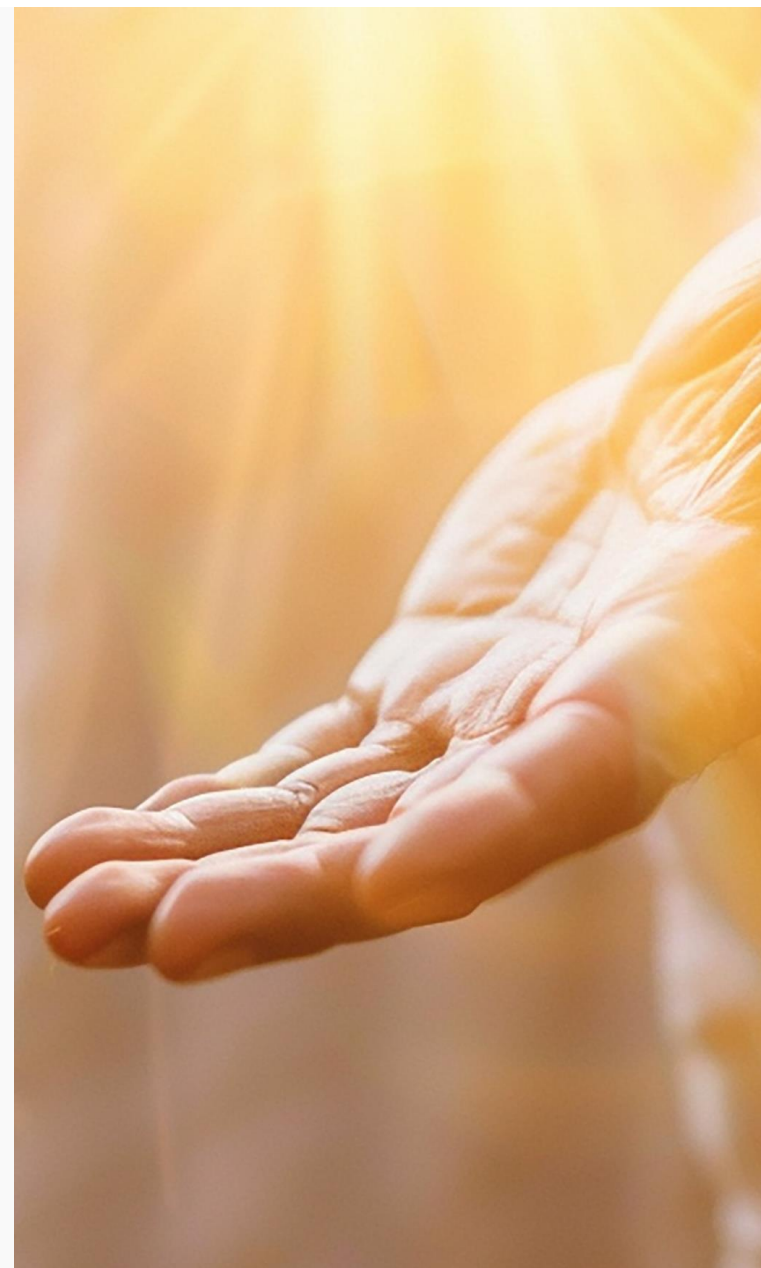


## 奨励 キリストの栄光 Ⅱ テサ2:14

そのために神は、私たちの**福音\***によってあなたがたを召し、私たちの**主イエス・キリストの栄光\***にあずからせてくださいました。

\*福音を信じて救われた(主に召された)

\*来るべき神の王国で栄光の体を与えられる  
聖霊が内住されている





## 奨励 使徒たちの教え II テサ2:15

ですから兄弟たち。堅く立って、語ったことばであれ手紙であれ、私たちがから学んだ教えをしっかりと守りなさい。

■ 教えの土台が、使徒たちの教え  
礎が、イエスの教え



## 祈り 祝祷 II テサ2:16~17

どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、永遠の慰めとすばらしい望みを恵みによって与えてくださった方ご自身が、あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いわざとことばに進ませてくださいように。

### ■ クリスチャンの聖化の歩みの大原則

- ① 御言葉に堅く立つ
- ② 成長させてくださる主に信頼する







Ⅲ. まとめと適用

主の来臨の希望の内に

## 終末のタイムスケジュール

### ①背教の時代

産みの苦しみの時代 →引き止める者がいる  
携拳 →引き止める者の不在  
完全な背教の時代 →主の日へ

### ②反キリスト

王たちを倒し、世界の王として君臨  
イスラエルと契約を結ぶ

### ③主の日

未曾有の災い、キリスト者への大迫害  
後半、反キリストが神殿を汚し、本性を露わに  
イスラエルへの大迫害、最終戦争  
民族的悔い改め、メシア再臨、裁き



## せめぎあう光と闇

- ①背教の時代** 引き止める者がいる →光と闇は拮抗  
闇が深まる一方、光も増し加わっていく  
携拳 →引き止める者の不在 →一瞬で世界は闇に
- ②反キリスト** 闇の世界の王として君臨  
イスラエルと契約を結び、平和を約束するが…
- ③主の日** 144,000人のメシアニックジュー、世界宣教  
→闇の世界に再び光がもたらされる →大迫害も  
極まる闇 →イスラエルへの大迫害、最終戦争  
民族的悔い改め、メシア再臨 →主の栄光

## せめぎあう光と闇のただ中で

- 今は、産みの苦しみの時代、かつてないほど主の日は近づく。進む背教。世界も、キリスト教界も、混沌を深めていく。
- 光が薄れていくわけではない。深まる闇の中、光は輝きを増す。かつて、使徒たちが迫害の中でそうであったように。
- 携拳の瞬間、世界は一瞬にして闇に包まれるが、再び光は輝く。極まる闇の中に、主の栄光が輝き出で、光は完全に勝利する。



## ★ クリスチャンの召命と希望 ★

- 携拳の後、残される人々を飲み込むのは、完全な闇。  
なお光は輝き出て、光と闇の空前の戦いが巻き起こる。  
艱難期に最後の希望はあるが、残されてよいはずもない。
- 世の闇はますます深まっている。一方でなお、増し輝く光がある。  
福音の光を掲げて歩むなら、主が必要を満たし、道を拓かれる。
- 福音を告げよう。私自身の生き様をもあわせて、関係性の内に。

**人々の心に、忘れようのない、主の真理の御言葉を刻もう**

てん とう  
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、<sup>そむ</sup>罪を<sup>つみ</sup>重ねてきました。  
ひび おか つみ こくはく つみ  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を<sup>つみ</sup>贖う<sup>あがな</sup>ために<sup>じゅうじか</sup>十字架で<sup>し</sup>死に、

はか ほうむ  
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③三日目に復活した<sup>しん</sup>こと、を信じます。

えいこう しゅ ふたた こ とき ま のぞ  
栄光の主が再び来られる時を待ち望みます。

しんこう わたし てん あ しゅ よ きび さば  
信仰のゆえに、私たちは天に挙げられ、主が世を厳しく裁かれます。

しゅ ひ やみ わたし あい ひとびと のが  
主の日の闇から、私たちの愛する人々を逃れさせてください。

ひとびと ところ わす ふくいん きざ わたし つか  
人々の心に忘れようなく福音を刻むために、私を遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」